

現行	見直し後（案）
<p>下記①、②、③を満たすもののうち、マクロライド療法など疾患特異的治療を要するもの。 胸部X線画像（単純X線、及びCTの両方）の添付を要す。*</p> <p>1 必須項目（下記①～③の全てを満たすもの）</p> <p>① 臨床症状：湿性咳嗽、膿性痰、労作時息切れ（全項目を満たす場合を陽性とする。）</p> <p>② 慢性副鼻腔炎の合併又は既往（X線を確認する。）</p> <p>③ 胸部画像所見：胸部X線所見で両肺のびまん性撒布性粒状陰影又は胸部CT所見で両肺のびまん性小葉中心性粒状病変（しばしば過膨張所見を伴う。進行すると両下肺野に気管支拡張所見が見られ、時に巣状肺炎を伴う。）</p> <p>2 参考項目（下記①～③のいずれか2項目以上を満たすもの）</p> <p>① 胸部聴診所見：断続性ラ音（多くは水泡音、時に連続性ラ音又はスクウォークを伴う。）</p> <p>② 呼吸機能検査 1秒率70%以下及び低酸素血症 80Torr 以下 進行すると肺活量減少、残気量（率）増加を伴うが、肺拡散能力の低下は見られない。</p> <p>③ 寒冷凝集素価高値（ヒト赤血球凝集法で64倍以上）</p> <p>3 以下の鑑別診断が除外できるもの 慢性気管支炎、気管支拡張症、線毛不動症候群、閉塞性細気管支炎、嚢胞性線維症など</p> <p>※ 新規申請に係る認定基準にのみ当該規定あり。</p>	<p>（診断基準） 以下の①から③までを全て満たすもののうち、マクロライド療法など疾患特異的治療を要するもの。 なお、新規申請時のみ、胸部X線画像（単純X線、及びCTの両方）の添付を要す。</p> <p>1 必須項目（下記①～③のすべてを満たすもの）</p> <p>① 臨床症状：湿性咳嗽、膿性痰、労作時息切れ（全項目を満たす場合を陽性とする。）</p> <p>② 慢性副鼻腔炎の合併又は既往（X線を確認する。）</p> <p>③ 胸部画像所見：胸部X線所見で両肺のびまん性撒布性粒状陰影又は胸部CT所見で両肺のびまん性小葉中心性粒状病変（しばしば過膨張所見を伴う。進行すると両下肺野に気管支拡張所見が見られ、時に巣状肺炎を伴う。）</p> <p>2 参考項目（下記①～③のいずれか2項目以上を満たすもの）</p> <p>① 胸部聴診所見：断続性ラ音（多くは水泡音、時に連続性ラ音又はスクウォークを伴う。）</p> <p>② 呼吸機能検査 1秒率 70% 以下及び低酸素血症 80Torr 以下。 進行すると肺活量減少、残気量（率）増加を伴うが、肺拡散能力の低下は見られない。</p> <p>③ 寒冷凝集素価高値（ヒト赤血球凝集法で64倍以上）</p> <p>3 以下の鑑別診断が除外できるもの 慢性気管支炎、気管支拡張症、線毛不動症候群、閉塞性細気管支炎、嚢胞性線維症、非結核性抗酸菌症（本疾患との合併例は除く）、膠原病合併細気管支炎、リンパ増殖性疾患合併細気管支炎</p>

びまん性汎細気管支炎

現行	見直し後（案）																											
	<p>(重症度分類等)</p> <p>以下の重症度分類表に基づき、少なくとも6ヶ月以上のマクロライド療法にもかかわらず、動脈血酸素分圧 (PaO₂)、症状 (咳・痰、mMRC 分類)、日常生活における障害の程度それぞれの評価スケールを用いて、いずれかがⅢ度以上のものを対象とする。</p> <p>【重症度分類表】</p> <table border="1" data-bbox="1160 496 2045 1145"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重症度</th> <th rowspan="2">動脈血酸素分圧</th> <th colspan="2">症状</th> <th rowspan="2">日常生活における障害の程度</th> </tr> <tr> <th>咳・痰</th> <th>mMRC 分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I 度</td> <td>Pao₂ 80Torr 以上</td> <td>咳、痰はなし</td> <td>呼吸症状なし</td> <td>日常生活活動に支障なし</td> </tr> <tr> <td>II 度</td> <td>Pao₂ 70～80 未満</td> <td>咳、痰は軽度で痰量は少ない。</td> <td>mMRC Grade 1～2 の呼吸困難</td> <td>呼吸器症状により社会での日常生活に支障がある。</td> </tr> <tr> <td>III 度</td> <td>Pao₂ 60～70 未満</td> <td>咳、痰が中等度で痰量は中等量</td> <td>mMRC Grade 3～4 の呼吸困難</td> <td>呼吸器症状により家庭内での日常生活に支障がある。</td> </tr> <tr> <td>IV 度</td> <td>Pao₂ 60 未満</td> <td>咳、痰が頻発し痰量は多い。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>呼吸器症状により身近の日常生活活動に支障がある。</td> </tr> </tbody> </table> <p>痰量：「少ない」1日 10ml 以下，「中等量」1日 10ml～50ml 未満，「多い」1日 50ml 以上を目安とします。</p>	重症度	動脈血酸素分圧	症状		日常生活における障害の程度	咳・痰	mMRC 分類	I 度	Pao ₂ 80Torr 以上	咳、痰はなし	呼吸症状なし	日常生活活動に支障なし	II 度	Pao ₂ 70～80 未満	咳、痰は軽度で痰量は少ない。	mMRC Grade 1～2 の呼吸困難	呼吸器症状により社会での日常生活に支障がある。	III 度	Pao ₂ 60～70 未満	咳、痰が中等度で痰量は中等量	mMRC Grade 3～4 の呼吸困難	呼吸器症状により家庭内での日常生活に支障がある。	IV 度	Pao ₂ 60 未満	咳、痰が頻発し痰量は多い。	/	呼吸器症状により身近の日常生活活動に支障がある。
重症度	動脈血酸素分圧			症状			日常生活における障害の程度																					
		咳・痰	mMRC 分類																									
I 度	Pao ₂ 80Torr 以上	咳、痰はなし	呼吸症状なし	日常生活活動に支障なし																								
II 度	Pao ₂ 70～80 未満	咳、痰は軽度で痰量は少ない。	mMRC Grade 1～2 の呼吸困難	呼吸器症状により社会での日常生活に支障がある。																								
III 度	Pao ₂ 60～70 未満	咳、痰が中等度で痰量は中等量	mMRC Grade 3～4 の呼吸困難	呼吸器症状により家庭内での日常生活に支障がある。																								
IV 度	Pao ₂ 60 未満	咳、痰が頻発し痰量は多い。	/	呼吸器症状により身近の日常生活活動に支障がある。																								

びまん性汎細気管支炎

現行	見直し後（案）												
	<p>【参考】 mMRC 分類 (Modified MRC Dyspnoea Scale for Breathlessness)</p> <table border="1" data-bbox="1160 379 2047 646"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Grade 0</td> <td>強い労作で息切れを感じる</td> </tr> <tr> <td>Grade 1</td> <td>平地の急ぎ足、かるい坂道で息切れ</td> </tr> <tr> <td>Grade 2</td> <td>平地で同世代の人より歩行が遅いか、自分のペースで歩行したときに息切れで止まる。</td> </tr> <tr> <td>Grade 3</td> <td>約 100m 歩行した後、息継ぎのため休む、または、数分間平地歩行した後、息継ぎのため休む</td> </tr> <tr> <td>Grade 4</td> <td>息切れのため家のため出られない、着衣時にも息切れ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、認定基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えない（ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限る。）。</p> <p>※ 治療開始後における重症度分類については、認定基準上に特段の規定がない場合には、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い状態を記載する。</p>	Grade	症状	Grade 0	強い労作で息切れを感じる	Grade 1	平地の急ぎ足、かるい坂道で息切れ	Grade 2	平地で同世代の人より歩行が遅いか、自分のペースで歩行したときに息切れで止まる。	Grade 3	約 100m 歩行した後、息継ぎのため休む、または、数分間平地歩行した後、息継ぎのため休む	Grade 4	息切れのため家のため出られない、着衣時にも息切れ
Grade	症状												
Grade 0	強い労作で息切れを感じる												
Grade 1	平地の急ぎ足、かるい坂道で息切れ												
Grade 2	平地で同世代の人より歩行が遅いか、自分のペースで歩行したときに息切れで止まる。												
Grade 3	約 100m 歩行した後、息継ぎのため休む、または、数分間平地歩行した後、息継ぎのため休む												
Grade 4	息切れのため家のため出られない、着衣時にも息切れ												